

大学院フェローシップ募集要項

プログラム概要

ACCでは、米国の大学院に入学が許可されている学生に少数ながら助成金の支給を行なっています。大学院フェローは、16の対象分野のいずれかに該当する大学院課程に在籍している必要があります。

助成金は大学院留学に伴う渡航費と生活費を支援することを目的としており、授業料は支給されません。

母国や地域で同様のプログラムがないために米国での研究を望む申請者、または母国や地域において研究の機会が少ない分野に従事している申請者が優先されます。ACCは大学院フェローシップを通して、国際文化交流を促進するとともに、文化芸術分野における学術研修の機会を支援することによって、学術的議論やクリティカルディスコース（批評的言説）の多様性に貢献することを目的としています。

大学院フェローシップは、1学年の期間の支援となりますが、さらにもう1年間の更新が可能です。本募集期における1学年とは、2025年秋学期から2026年春学期まで、または2026年春学期から2026年秋学期までの全日制の授業履修を指します。

以下のような内容を含む申請書は高い評価に繋がります。

- ACCのミッションに対する関心、また、海外で研究し新しい文化に触れることで、どのようにこのミッションに貢献できるかについての説明。
- 母国で十分に研究が進んでいない、あるいは十分な評価が得られていない芸術的実践、専門性、または学術分野での大学院学位取得がいかに自身のコミュニティや母国に利益をもたらすかを明確に説明できること。

大学院フェローシップ申請資格

一般申請資格及び要件に加え（上記参照）、以下の点にご注意ください。

- 米国における全日制の学位取得課程に在籍しているか、2025年4月1日までに正式に認可を受けた大学への入学許可証をACCに提出できること。
- 助成期間中に授業科目を履修する申請者に限ります。既に大学院課程での授業履修を終えている申請者は対象外となります。フィールドワークや論文執筆の段階にある申請者には助成金を支給しません。
- 半日制、夏季限定、またはオンラインでの大学院課程への申請者は対象外です。
- 学位取得を目的としない課程への申請者は対象外です。

大学院フェローシップの予算について

- 1学年度につき15,000米ドル。同じ大学院に全日制で在籍し、学業成績を維持できている場合は、さらに1年間更新の機会があります。
- 大学院フェローシップ申請者は、詳細な予算を提出する必要はありません。

大学院フェロースhipに関するFAQ よくあるご質問

- 大学院に出願しましたがまだ入学が許可されていません。大学院フェロースhipに申請できますか？
 - はい。申請は可能ですが、2025年4月1日までに入学許可を証明する書類をACCに提出する必要があります。
- 私は現在既に大学院課程に在籍しています。大学院フェロースhipへの申請は可能ですか？
 - はい。申請は可能ですが、2025年秋学期から2026年春学期、または2026年春学期から2026年秋学期の助成期間中、1学年度を通して全日制の授業を履修していることが条件となります。
- 大学院フェロースhipは何年間更新できますか？
 - 大学院フェロースhipの更新は、ACCが助成受給1年目の学業成績を評価し、2年目の在籍を証明することを条件として、最長1年まで更新可能です。更新手続きについては、ACCよりフェローにご連絡いたします。
- ACCは大学院への出願や入学をサポートしてくれますか？
 - いいえ。ACCでは入学志願者の大学院への出願や推薦状の提出などのサポートは行っておりません。
- ACCは米国の大学院課程に関する相談を受け付けていますか？
 - いいえ。ACCは大学院課程に関する相談には応じられません。
- ACCは学生ビザの取得支援を行っていますか？
 - いいえ。学生ビザの手続きに関しては大学にお問い合わせください。